



先週  
の  
ドル  
円

Source: CQG, Inc. © 2006 All rights reserved worldwide.

先週  
の  
相場  
概況

17日

香港での大規模デモに対する市場の反応が限定的だったことが確認されると、ドル円は108.72円まで強含んだ。もっとも、米NY連銀製造業景気指数が予想より弱い結果となったため、NY時間には伸び悩んだ。

18日

新潟県で震度6強を観測する地震が発生し、沿岸に津波注意報が出されると、ドル円はリスク回避の動きから108.06円まで下落した。その後、米中貿易協議の進展期待が高まったことで108.68円まで切り返したが、パウエルFRB議長降格絡みの報道が伝わると一時108.20円台まで失速するなど、荒い値動きが目立った。

19日

FOMCの結果やパウエルFRB議長の定例記者会見を受けて、米早期利下げ観測が高まると、米長期金利の低下とともにドル安が進行。ドル円は一時107.90円まで下押しした。

20日

時間外の米10年債利回りが2%割れとなったことをきっかけにドル売りが優勢となり、ドル円も売りに押された。この日発表された米経済指標が総じて弱い結果となったこともあり、一時107.21円まで値を下げた。

21日

ドル円は米金利低下を背景に一時107.05円まで下げたものの、金利の低下が一服すると下げ渋る展開となり、NY時間には107.74円まで買い戻される場面も見られた。

総括

先週のドル円は軟調。米中貿易協議の進展期待から強含む場面も見られたが、19日のFOMCを受けて米国の早期利下げ観測が高まると、米長期金利の低下とともに売りが優勢となった。米10年債利回りが節目の2%を割り込むと売りが加速し、21日には一時107.05円と1月3日以来の安値を更新。週末にかけては持ち高調整の動きから下げ渋ったものの、戻りも限られた。

なお、FOMCは19日の声明で「委員会は(利上げに)忍耐強くなれる」との表現を削除。「今後のデータを監視し景気拡大を維持するため適切に行動する」との文言に置き換えた。

## 先週の注目された経済指標結果

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値	結果
18日	10:30	火	AUD	RBA議事要旨	*	*	*	*	*	*
18日	21:30	火	USD	住宅着工件数	年率換算	5月	128.1万件		124.0万件	126.9万件
19日	27:00	水	USD	FOMC政策金利	*	*	2.25-2.50%		2.25-2.50%	2.25-2.50%
19日	27:30	水	USD	FRB議長定例会見	*	*	*	*	*	*
20日	未定	木	JPY	日銀政策金利	*	*	-0.10%		-0.10%	-0.10%
20日	15:30	木	JPY	日銀総裁定例会見	*	*	*	*	*	*
20日	20:00	木	GBP	BOE政策金利	*	*	0.75%		0.75%	0.75%

一言コメント・・・FOMCは市場予想通り政策金利の据え置きを決めました。声明やパウエルFRB議長の会見を受けて米早期利下げ観測が強まると、米長期金利の低下とともにドル安が進行。米国株相場は底堅く推移しました。

## 先週の注目された要人発言

17日06:32 ロス米商務長官「G20サミットで米中首脳会談が行われても、重要な通商合意がまとまる可能性は低い」  
 18日10:32 RBA議事要旨「さらなる緩和を決定する上で、労働市場が特に重要となるだろう」「今後、さらなる緩和の可能性が大きい」  
 18日17:04 ドラギECB総裁「量的緩和はまだ余地がある」「見通しが改善しない場合は、新たな緩和も必要」  
 18日22:43 トランプ米大統領「習中国国家主席と良い電話会談を行った」「大阪で開催されるG20サミットで習中国国家主席と会うだろう」  
 20日03:00 FOMC声明「5月会合以降に得られた情報によると、労働市場は依然として堅調で、経済活動は緩やかな上昇を示している」「ここ数カ月の平均雇用者数は増加しており、失業率は低いまま」「家計支出の伸びは年初から回復しているようだが、設備投資は軟調」「これらの不確実性とインフレ圧力の弱さを踏まえて、委員会は経済見直しに対する情報の影響を綿密に監視し適切に行動する」  
 20日03:34 パウエルFRB議長「FRBは景気拡大のために適切に行動する」「金融市場のリスクセンチメントは悪化した」  
 20日11:02 トランプ米大統領「イランは非常に大きな間違いを犯した」「イランを攻撃するかどうかすぐに分かる」  
 20日21:06 エルドアン・トルコ大統領「高金利政策に反対」「金利が高いとインフレ率は下がらない」  
 21日09:09 ユンケル欧州委員長「委員会はトルコに対する制裁を準備している」「掘削作業を巡るトルコへの制裁は甘くはないだろう」

一言コメント・・・米国とイランの軍事的緊張が高まり原油先物価格が急騰する場面がありました。注目のFOMCでは声明文の変更・FRB議長会見を受けて米早期利下げ観測が強まりました。トルコ大統領の発言でトルコの通貨リラ売りが強まる場面がありました。

## 今週の経済指標

日付	時刻	曜	通貨	指標名	比	月	前回値	改定値	予想値
25日	23:00	火	USD	新築住宅販売件数	年率換算	5月	67.3万件		68.5万件
26日	11:00	水	NZD	RBNZ政策金利	*	*	1.50%		1.50%
26日	21:30	水	USD	耐久財受注	前月比	5月	-2.1%		-0.1%
27日	21:30	木	USD	GDP確定値	前期比年率	1-3月期	3.1%		3.2%
28日	18:00	金	EUR	HICP速報値	前年比	6月	1.2%		1.2%
28日	21:30	金	CAD	GDP	前月比	4月	0.5%		0.2%
28日	21:30	金	USD	PCEコアデフレーター	前月比	5月	0.2%		0.2%

今週の注目は・・・G20大阪サミット

# 週刊マーケットアナリシス 会員専用版レポート

会員サイトログイン後のページで  
ご確認ください

- 今週のドル円相場見通し
- 今週のGI24コメンテーターの一言
  - 荻野金男
  - 和田仁志
- 今週の注目経済指標
- 今週のテクニカルポイント
- 先週のコメント
  - 今井雅人
  - 越後屋の小言

情報提供元：株式会社DZHフィナンシャルリサーチ

株式会社DZHフィナンシャルリサーチより提供している情報（以下「情報」といいます。）は、情報提供を目的とするものであり、特定通貨の売買や、投資判断ならびに外国為替証拠金取引その他金融商品の投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はあくまでお客様ご自身の判断と責任において行ってください。また、予告なしに内容を変更することがありますのでご注意ください。商用目的で情報の内容を第三者へ提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容によって生じた如何なる損害についても、（株）DZHフィナンシャルリサーチは一切の責任を負いません。